

カルナウバロウ

Cat. No. EXTZ-915

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

カルナウバワックスは、ブラジル北東部に自生するカルナウバヤシ（*Copernicia prunifera*）の葉から得られる天然の植物性ワックスである。本ワックスは、葉を乾燥させて叩打することにより採取し、その後、粗ワックスを溶融、ろ過および精製して食品グレードの原料とする。天然ワックスの中で最も硬質であり、融点は81～86℃と高く、淡黄色～褐色の脆性フレークまたは微粉末として供給される。化学的には、主として長鎖脂肪酸およびアルコールのエステル、ワックス酸ならびに炭化水素から構成される。カルナウバワックスは、優れた光沢、硬度および皮膜形成能により高く評価されており、菓子および果実の光沢付与・表面仕上げ剤、口紅・パーム・メイクアップ化粧品におけるテクスチャライザーおよび構造形成ワックス、錠剤・皮革・床材のコーティングおよび研磨剤、ならびにチョコレートおよびコンパウンドコーティングにおけるブルーム抑制剤として使用される。

用途

食品、化粧品、医薬品

製品情報

種

コペルニシア・プルニフェラ

由来

カルナウバヤシの葉

外形

淡黄色～褐色のフレーク状又は粉末状

形態

フレーク

CAS登録番号

8015-86-9

融点

81～86℃